

## 研究会報告

### 「第2回液体金属の物性と構造に関する研究討論会」

上記研究会が、日本金属学会第Ⅰ，Ⅱ総合分科主催の下に，1969年10月15，16日京大基研<sup>\*)</sup>において行なわれた。

報告課題と報告者は次の通りであった。

- |   |        |                      |
|---|--------|----------------------|
| 1. 融解現象の問題点                                 | 京大基研   | 松田博嗣                 |
| 2. 液体金属の構造                                  | 東北大・工  | 田中実                  |
| 3. 液体金属の電子状態                                | 京大・理   | 遠藤裕久                 |
| 4. 液体金属の密度および粘性測定の問題点<br>— 主として熔融鉄の場合について — | 阪大・工   | 森田善一郎                |
| 5. 圧力下における融解潜熱                              | 京大・理   | 遠藤裕久                 |
| 6. 水銀液体の融点附近における構造の異常性について                  | 東北大・金研 | 早稻田嘉夫<br>鈴木謙爾<br>竹内栄 |
| 7. 熔融鉄ならびにニッケルの中性子回折                        | 東北大・金研 | 早稻田嘉夫<br>鈴木謙爾<br>竹内栄 |
| 8. 液体金属・合金の圧縮率の理論                           | 東北大・理  | 長谷川正之<br>渡部三雄        |
| 9. Ziman理論による水銀合金系の電気抵抗と熱電能                 | 豊田理研   | 武内隆                  |
|   | 名大・工   | 野口精一郎                |
| 10. 液体カリウム合金の電気伝導度                          | 北大・理   | 伊丹俊夫<br>下地光雄         |

\*) 世話人 竹内栄，森田善一郎，遠藤裕久，松田博嗣

研究会報告

11. ハライドイオンを含む水銀の電氣的性質 北大・理 市川和彦  
下地光雄
12. 液体金属の電子状態の解折的モデル計算  
九大・理 末崎幸生
13. 液体金属ナトリウム中における非金属 O, H, C の状態と  
挙動について 原研 古川和男  
勝田博司
14. 合金液体の粘性について 東北大・金研 飯田孝道
15. 液体金属の密度, 音速, 圧縮率測定の問題点  
宮城教大 吉岡達雄  
鈴木弘志
16. 最大泡圧法による密度測定の実例と問題点  
東北大・選研 渡辺俊六  
斎藤恒三
17. 高温における酸化物融体の密度測定の問題点  
阪大・工 荻野和巳  
西脇 醇
18. 不規則系のホール効果, 混晶 京大・理 福山秀敏

研究会終了後, 報告者に報告を提出して頂いた。以下にこれを掲載する。

(文責 松田)